

地方独立行政法人東京都健康長寿医療センター令和5年度業務実績評価に係る評価委員会の意見について

令和5年度における地方独立行政法人東京都健康長寿医療センターの業務については、「優れた業務の進捗状況にある」と認められる。評価の決定に際しては、次の点について留意されたい。

- ・ 病院部門では、フレイルの視点をより一層重視した早期からの「予防し、治し支える医療」の実現に向けて、重点医療を中心に的確に取り組んでいる。高齢者の急性期医療を担う病院として、急性期患者の積極的な受入れに取り組むとともに、公的医療機関として、地域における中核的な役割を果たしながら、地域の医療機関等との連携を更に推進することが求められる。
- ・ 研究部門では、高齢者に特有な疾患と老年症候群を克服するための研究について、従来、老化や生活習慣病の原因因子とされてきた活性酸素の機能的役割を解明するなど、成果を上げている。引き続き、病院と研究所とを一体的に運営する法人の特長を生かした研究を推進するとともに、研究成果を広く発信するなど、更なる社会への還元を期待する。
- ・ 経営部門では、健康長寿医療研修センターが中心となり、高齢者の医療と介護を支える専門人材の育成に取り組んでおり、今後も、これまで蓄積したノウハウなどを生かしながら、地域における専門人材の育成に積極的に取り組むことを期待する。また、更なる業務の改善・効率化や収支改善に向けて、法人一丸となった経営基盤の強化に取り組むことが求められる。

第四期中期目標の達成に向けては、法人が次の取組を推進することを期待する。

- ・ 高齢者の急性期医療を担う病院としての役割を果たすため、救急患者の受入れ体制の強化と救急患者断り率の更なる改善に取り組んでほしい。
- ・ 医業収入をより一層確保するための取組を進めるとともに、引き続き、経営分析等を活用したコスト管理の体制強化を行い、更なる収支改善に取り組んでほしい。